

建設現場に特化した議事録作成代行サービスに AI 音声認識と ChatGPT を活用！

「AmiVoice® スーパースクライバー」リリース

～「2024年問題」解決に向け、AI と人のコラボで議事録作成を完全外注化～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、AI 音声認識 議事録作成プラットフォーム「AmiVoice スーパーミーティングメモ」と、Microsoft 社が提供する「Azure OpenAI Service」を活用した建設現場向けの議事録作成代行サービス「AmiVoice スーパースクライバー」をリリースします。^{※1}



「AmiVoice スーパースクライバー」サービス概要

建設業界は、就業者数の減少や高齢化、長時間労働など多くの課題を抱えています。国土交通省の発表^{※2}によると、就業者数は、479万人（2022年平均）で、ピーク時の97年平均と比較すると約30%の減少、さらに55歳以上は35.9%、29歳以下は11.7%と高齢化が進んでいます。また、年間の総実労働時間については、全産業と比較すると90時間以上長くなっています。

2024年4月から時間外労働時間の上限規制が適用される「2024年問題」もあり、各企業にとって業務効率化の改善は喫緊かつ不可避の経営課題となっています。

また深刻な人手不足や「2024年問題」といった課題がある中で、建設現場では、エビデンスとして打ち合わせ内容の議事録作成が必須となっており、現場業務の大きな負担になっています。

「AmiVoice スーパースクライバー」は、国内シェア No. 1^{※3}のAI音声認識 AmiVoice を搭載したアプリケーションを活用し、発言内容の書き起こしを行い、さらに「ChatGPT」を活用した要約議事録の作成を行います。AI ツールをフルに活用し専門の人材が行う、AI と人がコラボレーションした建設現場に特化した議事録作成代行サービスです。

議事録の書き起こしには、AI 音声認識エンジンを建設現場向けにチューニングし搭載した当社の議事録作成支援アプリ「AmiVoice スーパーミーティングメモ」を利用し音声認識されたテキストの修正および「ChatGPT」による要約まで、専門の人材が行い、現場の皆様の手を煩わせることなくサービスを利用することが可能です。

誤認識箇所の修正は、建設・不動産向けの音声認識入力ソフト「AmiVoice VKB」を活用し、専門の人材が行います。「AmiVoice VKB」を活用したリスピーク（音声の復唱）は、キーボード操作の習熟度に関係なく、タイピングよりも格段に速くテキストの修正を行うことができます。

また、本サービスと併用して「AmiVoice スーパーミーティングメモ」のシステムを無償で利用することもでき、ご利用シーンに合わせて議事録作成の内製・外注をご選択いただけます。

本サービスに関わる、AI によって増幅した能力を持つ人材の育成・提供は、建設業界特化の人材サービスを展開する当社子会社、株式会社アミサポ（以下、アミサポ）で行います。アミサポで育成した AI 活用に習熟した人材が議事録作成・要約を代行し、120 分までの音声データであれば、最短で翌日の納品が可能です。

アドバンスド・メディアでは、人が AI 技術により能力を高める AISH（AI Super Humanizing）の実現を目指し、今後も AI 音声認識 AmiVoice と人がコラボレーションしたサービスの提供に力を入れてまいります。

【「AmiVoice スーパースクライバー」特長】

1. AI と人のコラボレーションにより、議事録作成業務を完全外注化

国内シェア No. 1^{※3} の AI 音声認識 AmiVoice を搭載したアプリケーションを活用し、誤認識の修正や「ChatGPT」を活用した要約などを、専門の教育を受けた人材が行う、AI と人がコラボレーションした議事録作成代行サービスです。議事録作成にかかる一連の業務を完全に外注化することが可能なため、ツールの習熟の必要がなく気軽にご利用いただくことができます。

2. 建設現場に特化した専用の音声認識エンジンを搭載し、専門用語も高精度に認識

本サービスで議事録作成に活用している、AI 音声認識議事録作成プラットフォーム「AmiVoice スーパーミーティングメモ」は、建設・不動産業界に特化した音声認識エンジンを搭載。専門用語や業界用語もスムーズに変換し、高い認識率を実現します。さらに認識精度を高めるため、推奨マイク YAMAHA「YVC-1000」の月額レンタルもご用意しています。

3. 最短で翌日の納品が可能。議事録作成業務の効率化に貢献

納品日は標準 5 営業日としていますが、120 分までの音声データで、15 時終了の会議であれば、最短翌日の納品が可能です。ユーザーは納品された議事録内容の確認を行うだけで済み、大幅な業務効率化が期待できます。なお、音声データ 1 分あたりの書き起こし費用は 150 円～、要約は 1 分あたり 250 円～となっています。

製品サイト：https://www.advanced-media.co.jp/?p=28594&post_type=products&preview=1&_ppp=551c025408

■「AmiVoice スーパーミーティングメモ」について

会議や打ち合わせの発言を音声認識で即時テキストにすることで、議事録作成の業務負担を軽減し効率化を図ることができるクラウド型の議事録作成プラットフォームサービスです。話者の発言はスマートデバイスのアプリを通してテキスト化されます。

単語登録機能や独自の音声認識エンジンを活用することで、建設業界特有の用語も正しく変換することができます。発言内容はテキスト化と同時に録音もされるため、Web ブラウザから発言の絞り込み検索や重要発言のマーキングができ、認識結果の編集・管理・保存が簡単に行えます。また Microsoft Word への出力、議事録の一括送信など、議事録作成をサポートするさまざまな機能を備えています。製品サイト：<https://www.advanced-media.co.jp/products/service/amivoice-super-meeting-memo>

■ 「AmiVoice VKB」について

建設・不動産などで働く全ての従業員に、キーボード入力の効率化を提供する音声認識ソフトです。複数の高精度な音声認識エンジンを搭載しており、適時、適所で使うことで利用の幅を大きく広げ、一般文章、住所、長い数字列、変換が煩わしい英字・数字・記号の混在などのキーボード入力を効率化させることができます。

製品サイト：<https://www.advanced-media.co.jp/adp/>

※1 本プレスリリースに掲載されている商品・サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

※2 出典：国土交通省「建設産業の現状と課題」<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001610913.pdf>

※3 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2023」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3031 万円 (18,392,724 株) (2023 年 3 月末現在)

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現：グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典：ecarlate「音声認識市場動向 2023」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail： press@advanced-media.co.jp ・ TEL：03-5958-1307	BDC 本部 ・ E-mail： bdc-info@advanced-media.co.jp